

久慈市漁業協同組合 (水産業団体)



会社紹介

久慈市の主要産業の一つである水産業。その中心を担う漁業協同組合として、水産物の水揚げから加工に至るまで業界全般にわたり関わっております。また、水産業の更なる発展のため、本所のほか久喜・小袖・侍浜地区に支所を設け、地域と一体となって歩む協同組合です。

当地域も震災による大きな被害を受けましたが、現在、関係機関や全国の皆さまのご支援により、水産施設、設備の再建や、さらには組合員の生活支援など復旧、復興に努めております。

会社の良いところ (会社PR)

水産業は久慈市の基幹産業の一つであり、地域を支える産業の振興発展の一翼を担う責任と誇りを、職員一人ひとりが自覚し、仕事に取り組んでおります。また、業務範囲も広く、魚の水揚げから、販売、加工、さらには燃料販売、金融関係などに関わっており、適材適所で働くことができます。

求める人材像

- 元気で明るい人。

働いている年齢層

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
1名	11名	10名	7名	7名	10名	46名

勤務時間 早勤務 午前6時00分～午後3時00分
通常勤務 午前8時30分～午後5時30分 (休憩 各60分) 一年単位の変形労働時間制

休日休暇 日曜日、祝祭日、お盆、正月、冬期間週休二日制 年間休日日数 85日

初任給 138,600円

昇給 年1回

賞与 年2回 (6月・12月) 計 2ヶ月分

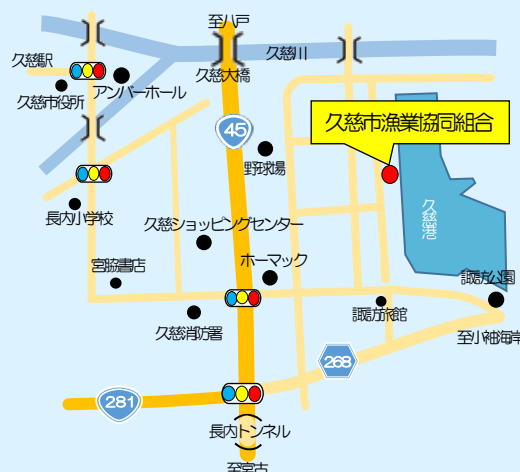
社内行事 新年会、忘年会

採用実績 令和元年度卒：1名、平成30年度卒：3名、平成29年度卒：3名

採用実績校 久慈東高等学校、久慈工業高等学校、久慈高等学校、久慈拓陽支援学校



久慈市漁業協同組合 外観
(海側から見たところ)



【会社概要】

企業名 久慈市漁業協同組合
代表者 組合長 梶 健一郎
所在地 岩手県久慈市長内町42-6
TEL 0194-52-3111
FAX 0194-52-3118
URL <http://www.jf-net.ne.jp/itkujigyokyou/>
設立 昭和40年4月
従業員数 46名
出資金 7億9,800万円
事業内容 信用・共済事業、漁業振興事業、水産加工業、販売事業



か っ た な お と

勝田 直人

プロフィール

出身地：久慈市長内町

出身校：久慈東高等学校

担当業務：魚市場担当

入社：平成23年度



～ 一日の流れ ～ (早勤務の場合)

4:00	睡眠
	起床・朝食 準備・出勤
6:00	せり前の魚の計量 伝票作成・せり 伝票整理・集計作業 売上の計算 整理清掃
12:00	休憩・昼食
13:00	夕方の水揚げ開始 翌日の準備
15:00	帰宅 自由時間 夕食・入浴等
21:00	睡眠

仕事の内容

魚市場兼に所属し、三陸漁場から直接市場に水揚げされる魚介類を、せりが始まる前に手際よく仕分けをし、計量ののち、せりの手伝いをします。その後、仲買人への販売・伝票処理をして、当日の水揚げ高や販売額を集計するなどの業務をこなします。



▲秋サケの水揚げ

先輩の情報(入社へのきっかけ、スキルアップのため頑張っていること、休日の過ごし方、など)

鮮度が命の魚。季節ごとに移り変わる多くの魚を前に、毎日テキパキと若者らしく仕事をこなすよう努力しています。漁協の職員は、漁師からの信頼が大切に、頼りにされないと相手にされません。将来は、せりの担当もしたいと思っています。



▲魚の種類や数量を伝票に記入

学生時代頑張ったこと

高校時代は、パソコンの検定や簿記の検定など取得できる資格はできるだけ挑戦し取得してきました。特に、情報処理の検定試験は、難関であったので頑張って勉強をし、合格することができました。



困難をどう乗り越えているか

仕事に詰まった時や、分からないときは、自分だけで判断することなく、早めに上司に聞いて指示を仰ぐことにしています。

うれしかったこと

震災の年の採用でしたが、職場が甚大な被害を受け、出社が大幅に遅れ、いつ仕事に就けるか大変心配でした。また、勤務後は毎日続く後片付け作業も貴重な体験となりましたが、漁業関係も少しずつ復旧し、将来が明るく開けていくようで大変うれしく思いました。

高校生へのメッセージ

仕事にこだわらず何事に対しても、自分の考えをもって行動できる人間になってほしい。